

『もりおかの短歌』夏の部

一般部門 優秀賞十首

新婚しんこんの父母暮ふぼくらしたるよりきこうじ与力小路

亡母ははよ

あなたは十九じゅうくでしたね

宮城県仙台市 神田 和子

擬宝珠ぎぼうしゆの橋はしからながめる

中津川なかつがわ

鮎釣あゆつる人ひとにせせらぎおとの音

盛岡市 西川 政勝

盛岡もりおかの街まちに溢あふる

持もて成なしの心こころ伝つたえる

優やさしき訛なまり

盛岡市 河野 康夫

群舞するさんさの夏が
ぐんぶ なた

恋しくて想ひを馳せる
こい おも は

盛岡の街
もりおか まち

盛岡市 河野 康夫

三周忌むかえる旧友を
さんしゅうき とも

供養する
くよう

共に歩るいた盛岡の街
とも あ もりおか まち

盛岡市 赤坂 昌信

夕顔瀬を
ゆうがおせ

そぞろ歩けば想い出す
ある おも だ

友と唄った北上夜曲
とも うた きたかみやきよく

盛岡市 小林 貴史

不来方の城から
こずかた しろ

見ゆる岩手山
み いわてさん

残雪線が点になりゆく
ざんせつせん てん

盛岡市 鈴木 充

いつもなら

さんさの太鼓鳴り響く
たいこな ひび

盛岡の夏今年はずか
もりおか なつことし しず

盛岡市 鈴木 充

啄木の短歌に魅かれて
たくぼく うた ひ

文学に目覚めし賢治
ぶんがく めぎ けんじ

岩手の絆
いわて きずな

秋田県湯沢市 佐井 良子

寺の下
てら した

町屋が並ぶ鉞屋町
まちや なら なたやちよう

清き湧き水今も変わらず
きよ わ みずいま か

千葉県佐倉市 坂下 明喜

夏の部へジュニア部門へ

優秀賞

該当なし

【講評】

一般部門

コロナ禍により、多くの催し物が中止となったりして、社会全体が閉塞感に被われている。その中にあっても多くの方から歌が寄せられたことを嬉しく思います。それぞれが、岩手や盛岡、そして啄木、賢治、また家族や友人に対する思いの深い歌を詠まれており、心が癒されてゆく感じになりました。ただ少し残念なのは、推敲しないままに歌を出してしまう方がおられることです。推敲によって歌の質が高まります。次回からはぜひ推敲をお願いします。

令和二年九月選 夏の部

投稿数 八十五 首

選者 山本 豊